



保護者会 実施のご報告

7月15日(水)、夏季休業直前に今年度2回目の保護者会を行いました。

校長よりご挨拶をさせていただきました際の内容を掲載いたします。

本校の教育活動をご理解いただくため、ご活用いただけますと幸いです。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

～ 令和8年7月15日 保護者会 校長 ご挨拶より ～

明後日、この体育館にて、生徒は終業式を迎えます。一学期70日余りの教育課程を修了します。

一学期の間、お子さんを一緒に支え、連携をとっていただいた保護者の皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。

皆様もご自身の経験があるところかと思いますが、成長著しい頃合いの中学校生活は、絶妙な三年間だとつくづく思います。

この一学期だけを切り取ってみても、各学年それぞれの局面を過ごしてきました。先輩になって一層背筋が伸びた二年生は、後輩を気遣い、先輩を目指して他者への意識が育つ中で、学年として強い団結を見せ始めています。卒業と入学といった大きく変化する環境を乗り切ろうとしている一年生は、もう中学生の顔つきになりました。最高学年の誇りを胸に、自らの生き方に本格的に向き合い始めた三年生は、自分の可能性に不安と期待が胸に満ちてきている様子が見て取れます。

毎日のように授業の様子を見て回りますが、始業式や入学式から、たった三ヶ月少々だけなのに、毎週のように感じる生徒の変容に気付かされ、驚かされます。

一人一人の三ヶ月とは、この時期に必要な経験を重ねた毎日です。

生徒それぞれの頑張りがあり、ご家庭のご支援があったことと思います。ずっと力を尽くしてきたご家庭の日々を、この学期末に一度振り返っていただきたいと思います。その材料として、本校から、通知表と三者面談にてここまでの過程をお伝えします。

まずは、ここまでの歩みを共有して、労って、称えていただきたくお願いいたします。

さて、お集まりいただきましたこの機会ですから、この一学期の生活を踏まえて、私からもう少し具体的な2つの話をさせていただきます。

一つ目は学習に関するお話です。

荒川三中の生徒と先生は授業の時間を大切に過ごしています。当たり前のことのように、この基本的な日常をきちんと送れる学校であることをこれからも大事にしていきたいと思っています。

今年度は一学期の中間考査をなくしました。その時間を基礎基本の習得や、基本的な生活習慣や授業充実など、既にお伝えしてまいりましたねらいに沿った日常につなげることができました。ご意見もお寄せいただき、ありがとうございました。

明後日には通知表をお渡しします。一学年のご家庭は中学校に入学して初めての通知表。書式も変わり、緊張しながら受け取るお子さんの様子が目に浮かびます。

私が中学校の教員になった頃は、集団の中で何番目であるかを評価として通知表に掲載していたのですが、今は全く異なります。春にお集まりいただいた保護者会でもご説明しましたが、この評価は達成度を表した評価です。

定期考査も授業もみんな同様ですが、人と比べた競争の結果を目標としているのではなく、目標に向けてどれだけ努力をしたのか、努力が実ったのか、これからどこに力を入れて伸ばしていったらよいのか、について考えるために、学習の達成度を評価しています。

教科の評価はABCや54321の記号が並びますが、通知表を前にしてお子さんとお話をすると、その背景に一学期の毎日の努力が見えてくると思います。お子さんとお話をしたり、三者面談の話題にしたり、教科の先生にお声かけいただいたりして、活用をしていただきたく、お願いいたします。

二つ目はネットのトラブルに関するお話です。

皆さんのお子さんはスマートフォンをお持ちでしょうか。あるいはパソコンもご利用でしょうか。これからの時代、情報処理や情報活用などのスキルは、ますますなくてはならないものになり、私の世代とは比べものにならないほど、今の子どもたちはその感覚を磨いています。私もAIの活用に興味をもってこの夏は幾つかの研究会に顔を出す予定でおります。

機器を活用する能力を育むことはもちろん大切なのですが、正しく活用する判断力を身につけることはもっと大切であると思います。例えば自家用車を運転するのに、交通ルールを考えずに好き放題走らせたら、暴走になってしまいます。便利な道具は、危険な道具になり得ます。デジタル機器も同様です。

この1年間、本校職員はSNSのトラブルの指導に何件も対処してきました。例えばスマートフォンは他のどなたでもないご家庭で保護者が許可をして利用を始めます。いかがでしょうか、最初だけの許可になっていませんか。随時、活用している状況を把握して、ときには許可を、ときには声をかけて制御をしていってほしいと思います。

正しい使い方とは、人を傷つけることのない使い方です。そのためにはマナーやルールがあります。今、お子さんはマナーを踏み外してはいないでしょうか。

という内容を、この夏、改めてご家庭でお話いただけますでしょうか。

特に大事なことは、今日、今の使い方です。

実はご存じのご家庭も多いかと思いますが、昨日夕方から深夜にかけて、

本校の生徒の氏名がInstagramに、コメントを添えて掲載されるといういわゆるSNSトラブルが発生しました。被害にあった10名以上の生徒の他、閲覧やコメント掲載、さらには一層盛り上げようと心無いメッセージを投稿するなど、100人以上の本校生徒や他校の生徒が関わっています。学校としては、早い段階から南千住警察に相談し、教育委員会の指導を受けながら、昨晚も12時過ぎまで対応に追われ

ました。本日は、生徒の登校を待つて3学年は学年集会を行い、被害生徒の様子を見た上で聞取りを行いました。

ここで私たちが一番大切にしたいと考えているのは、被害生徒や関係した生徒の悲しみに寄り添うことです。悪意を向けられてやり場のない悲しみにふさいでいる生徒の姿を思い浮かべながら、私は出勤をいたしました。

1学年も2学年も不安を感じている生徒とお話をして、学年や学級にて改めてネットトラブルへの関わり方の指導を行いました。

確固たる証拠があるわけでもなく、不確かな情報でいたずらに犯人を捜すのは、また被害者を増やすだけです。生徒には、疑われることで悲しい思いをする人間が一人増えるだけだから、と犯人捜しを自重する空気があります。

三学年の学年集会では、学年に不信感が漂わないように、今一度私たちの学年ができることを確かめ、より一層心を合わせていきましょう！というお話をさせていただいたつもりです。

現在悪意ある該当のInstagramのアカウントは、設置者によって閉じられたようです。警察には現在学校から相談をして、対応をいただいています。状況によってはいつでも動きますよ、という心強い言葉をいただいています。しかし、代わって同様の掲示板が開設されました。他にも私たちの把握できていない交流が、きっと交わされています。

ネットトラブルの難しいところは、表面化したときは、もうすでに悲しい思いをしている人がいるということです。そのためにも、私たち大人の支えは不可欠です。

学校でも、毎月のように折に触れて呼びかけたり、学習の機会をもったりと取り組んでいます。お子さんを、加害者にも、被害者にもしたくないと強く思います。そう考えて、この一学期も、繰り返し、繰り返し、スマホやパソコンを操るときにはそこに係わる方々の心を大切にしなければならない、と情報モラル教育に取り組んできました。

どのような場面であっても、大切なことを見失わないような判断ができること。お子さんには、あとどれくらい大人の支援が必要でしょうか。きっとまだまだ必要です。

学校生活であれば、生徒から相談が寄せられたり、様子を見て声をかけたりすることができます。でも、夏季休業中には、なかなかそうはいきません。

ご家庭であらかじめお話いただいたり、現状を把握していただいてその中でお声かけいただいたりして、この視点でお子さんの生活に寄り添っていただきたくお願いいたします。

学習にしても、集団生活にしても、心理状態や成長の状態にしても、生徒それぞれの現在地から、これから夏休みに入ります。集団生活を離れるこの期間で、独り自分を見つめる時間を過ごしていただきたいな、と願っております。

何かありましたら、学校にもお声かけください。

《 教育活動のご紹介 》

学校ホームページ では、

荒川三中の日常の様子を
ご紹介しています。
ぜひ、ご覧ください。

